【個 人】　　提　出　　平成 30 年９月 10 日

山　行　報　告　書

山行計画提出者　：佐 野

山　域・山　名：　大 朝 日 岳　（1,870m）　（山形県）	
入山日：平成　30 年９月 11 日～１２日　　１泊２日　　帰宅予定日：９月 12 日	
プラン担当者　正：佐野　　副：	概略図
参加者	L：佐野　　報：佐野　　記：佐野 男１名 、 女２名、　計３ 名
最終打合せ：　　月　　日（火） 雨天中止・順延の連絡：　　月　　日（　） 時までに（メール）で連絡。 順延：無	
９月 11 日（火）	5：10 山崎さん・佐野団地合流→5：20 田中さん宅出発→5：40 東北道岩槻インター入口→寒河江インター出口→10：45 小寺鉱泉・朝陽館手前駐車場・トイレ→11：05 出発→朝陽館→ハナヌキ峰分岐・一服清水（水場）→16：30 大朝日岳避難小屋泊→荷物整理→5：00 大朝日岳登頂→就寝
９月１２日（水）	04：00 起床→ご来光→朝食→05：40 大朝日小屋出発→9：45 小寺鉱泉・朝陽館→10：00 駐車場→温泉・帰路→17：00 大宮着
荒天候時のエスケープルート：　来た道を戻る	
装備食糧	共同装備：なし、共 同 食：なし、車提供者：佐野 個人装備：ツエルト６、シュラフ、マット、バーナー、ガス、コッヘル、水、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、 個 人 食：
感想	秋雨前線が停滞しており不安定な天候が続く。当初予定していた北アルプスを断念し東北へ変更。平日ということもあり高速はスムーズ、その後駐車所に着くまで少し道迷いもあり予定より１時間遅れ。途中登山道で道を管理している地元の大江山岳会の皆さんとすれ違い、４時までに着かないと避難小屋管理人さんに注意されるよとのこと、少し急ぐ。 天気は当たり青空の中を歩く。途中水場が２箇所あり冷えた美味しい水をいただくことができた。稜線に出ると山はうっすらと紅葉が始まっていた。 日も短くなっているため今回は手前の小朝日岳登頂は諦め、主峰の大朝日岳を目指す。 結局避難小屋到着は４；30、この日はたまたま優しい女性の管理人さんで温かく迎えていただく。避難小屋というよりは小奇麗な山小屋風で、素泊まり一人１５００円。 荷物を降ろし目的の大朝日岳登頂。雲海が夕日に染まり綺麗だった。 避難小屋へ戻りワインで乾杯。小屋は１００人収容できるとのことだが、この日は全員で１０名ほど。徐々に暗くなり飲み屋のような雰囲気に。ほかの方ほとんどが６；30 には就寝しているためこちらも就寝。 翌朝、小屋前からご来光が綺麗に見え、鳥海山、月山、他山々がくっきりと見えた。交通費はかなり嵩んだが、避難小屋は安く、帰り、道の駅月山の温泉も３００円とリーズナブル。 ギラギラしたイメージの北アルプスと違い、ゆったりとした雰囲気の東北もいいなと思った。